

地震と歴史

名古屋大学 福和伸夫

私たちの目の前にある南海トラフでは、100年程度の間隔で巨大地震が繰り返し発生してきました。今回は、過去に我が国を襲った地震について振り返ってみましょう。

■3つの地震

南海トラフで起きる地震は、東から東海地震、東南海地震、南海地震と名付けられています。過去3回の地震は、1707年宝永の地震、1854年安政の地震、1944、46年の昭和の地震です。宝永の地震では3つの地震が同時に発生し、安政の地震では東海・東南海地震の32時間後に南海地震が発生、昭和の地震は東南海地震の2年後に、南海地震が起きました。

これらの巨大地震の前後には、内陸での地震も頻発しています。宝永の地震では、4年前の1703年に元禄の関東地震が発生し、49日後には富士山が噴火しました。

当時は5代将軍綱吉が治める元禄時代で、1702年には赤穂浪士の討ち入り事件がありました。綱吉の死後、悪評高い生類憐れみの令は廃止され、新井白石による正徳の治が行われました。享保の改革を成し遂げた8代将軍吉宗は、当時は紀州藩主でした。

安政の地震の前後にあたる1847年～58年には5つの地震が発生しました。1855年の安政江戸地震では、地盤の悪い小石川の水戸藩邸が倒壊し、尊王攘夷派が力を失って開国派の発言力が増しました。同じ時期、53年にペリーが来航し、54年日米和親条約、59年安政の大獄、60年桜田門外の変、67年大政奉還と続きました。

■昭和の地震

1944、46年の昭和の地震に先だって、23年に関東大震災が発生しました。その後、25年～48年にも45年の三河地震など9つの地震が続発しました。日露戦争、第一次世界大戦に勝利し、大正デモクラシーを迎えていた日本は、大震災で大打撃を受けました。

翌週出された緊急勅令・治安維持ノ為ニスル罰則ニ関スル件は、その後25年に治安維持法となり、震災手形は不良債権化し、27年に金融恐慌を引き起こしました。震災時の流言飛語への反省もあり、25年にはラジオ放送も始まりました。

さらに31年満州事変、32年5・15事件、36年2・26事件、37年日中戦争、41年太平洋戦争へと続きます。44年になると南方の島々が陥落、11月24日に東京が空襲を受けました。そして12月7日に東南海地震が発生し、この地方を襲いました。わが国では軍部が情報統制したものの、アメリカでは新聞一面に「日本で巨大地震」と報じられました。

この地震で、愛知県半田市の中島飛行機山方工場や名古屋市南区の三菱重工名古屋航空機製作所道德工場が倒壊。翌週13日には三菱発動機の大幸工場が空襲され、1か月後の45年1月13日に三河地震が発生。そして8月、敗戦を迎えます。

このように地震の続発と歴史の変遷とは重なって見えます。阪神大震災のあった1995年以降、毎年地震が発生しています。次の巨大地震に備えて、今こそ本格的な対策を一人一人が始めるときです。